

CEST Business Writing 評価基準

CEFR	コミュニケーションの達成度	文章構成	表現の幅と正確さ
C1	目的に合った文体や型を効果的に活用して読者の関心を引き、保ちつつ、単純な内容から複雑な内容まで適切に伝えられる。	多様な結束表現や構成パターンを概ね効果的に用いながら、良く整理された一貫性のある文章を書ける。	一般的でない語彙も含め、幅広い語彙を適切に使うことができる。単純な文型と複雑な文型を自在に使い分け、柔軟かつ正確に使用できる。時折誤りが見られることはあるが、コミュニケーションに支障をきたすことはない。
B2	目的に合った文体や型を使って読者の関心を引き、保ちつつ、単純な内容を伝えられる。	多様な接続表現や結束表現を用いながら、概ねよく整理された一貫性のある文章を書ける。	日常的な語彙を適切に使うことができるが、時折一般的でない語彙が不自然な形で使われることがある。幅広い単純な文型および一部の複雑な文型を、十分正確に使うことができる。誤りがコミュニケーションに支障をきたすことはない。
B1	目的に合った文体や型を概ね適切に使い、単純な内容を伝えられる。	基本的なつながり言葉や限られた結束表現を用いながら、つながりと一貫性のある文章を書ける。	日常的な語彙を概ね適切に使うことができるが、特定の語彙の使い過ぎが目立つこともある。単純な文型は十分正確に使うことができている。誤りは見られるものの、意味は伝わる。
A2	単純なアイデアを単純な方法で伝える文章を書ける。	基本的で頻出のつながり言葉を使い、つながりのある文章が書ける。	基本的な語彙を大きな問題なく使うことができる。単純な文型をある程度使いこなせる。時折誤りによって意味が伝わりにくいことがある。
A1	単純で具体的な内容について、断片的で短い文を書けるが、意図が十分伝わらないこともある。	文章同士のつながりはほぼ見られないが、句読点や簡単なつながり言葉（例："and"など）が使われることもある。	断片的な単語やフレーズなど、基本的な語彙を使うことができる。単純な文型のみを限定的に使うことができる。